



地域の人がショベルカーでならしてくれた  
馬場仕事終わりにやつてきてはビール一本  
で快く手伝ってくれた。



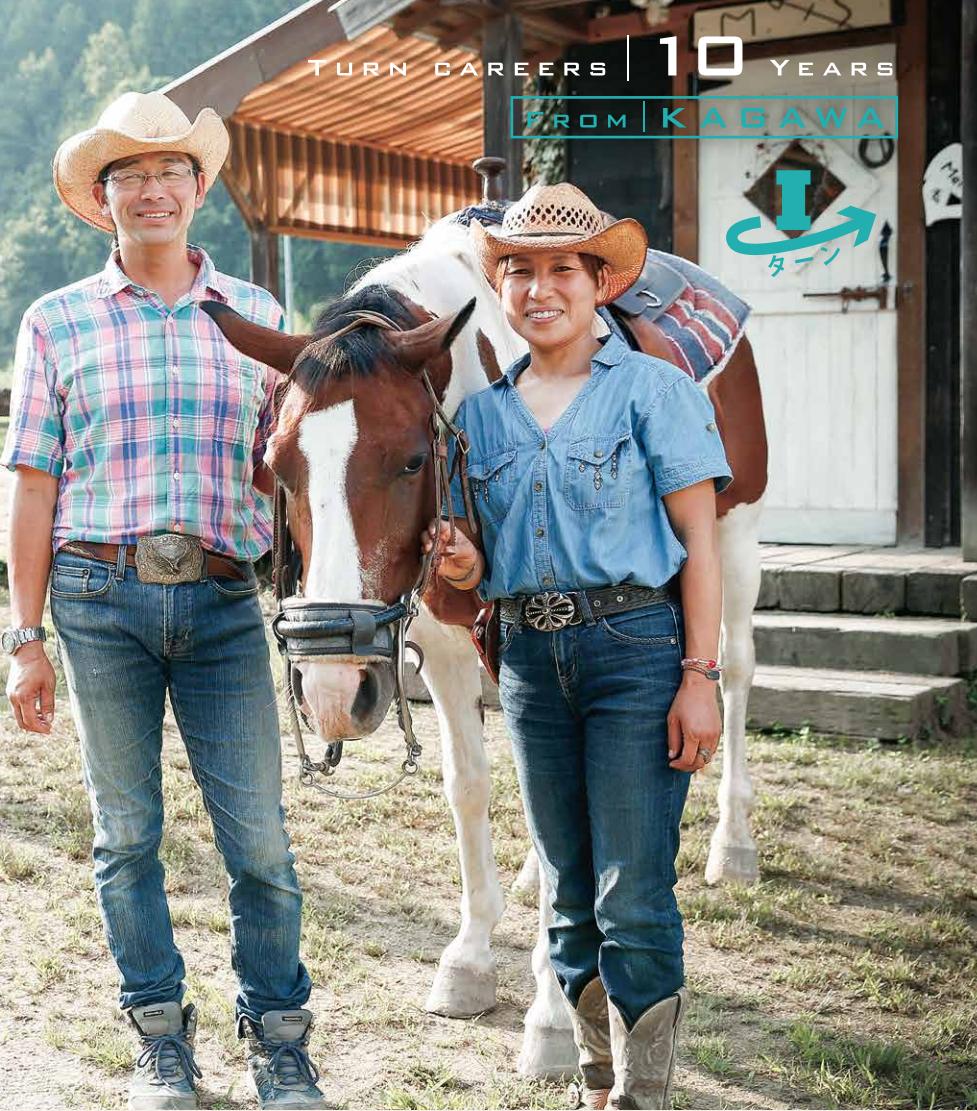
### ●エオの谷 North Sige

安芸高田市美土里町北3305 ☎0826-55-0414(予約制)  
<http://eohnotani.p1.bindsite.jp>



# 竹内 拓郎・直美

エオの谷 North Sige 「ホースセラピー施設経営」



独立を決意したときも、まず相談に行つた先は小学校の校長先生だった。とにかく真剣に想いを伝えると、早速、地域のまごめ役の方を紹介してくれた。獵師であり動物にも造詣の深いその男性が開口一番に発した言葉を竹内さんは今も克明に覚えている。

「君の夢を僕に聞かせて下さい」。

竹内さんは自分たちと馬との関係性や馬が人にとって如何に素晴らしい動物かということ、そして人と馬のセッションをこの地でやっていきたいということを思いのままぶつけた。その本気の想いが伝わり、土地の世話・協力者の紹介・地域での後見人を一手に引き受けてくれることとなつた。

それからは徐々に地域の方々が協力してくれるようになつた。田んぼを馬場に変える作業をシヨベルカーで手伝いにきてくれたり、建設業の方がお金が掛からぬようにと、セルフビルドのサポートしてくれたり：「恵まれ過ぎ」というほど助けてもらつたという。

「何をするにしても相手は人間。気持ちは通じるから、想いがあることはやつて欲しいな」と直美さん。

「せっかく移ってきた人が出て行つてしまふのは地域も残念です。だから一生続けられるよなことをして欲しい。好きなことを無理せずに。でも命さえあれば大抵の事はできると思します。こんな僕でもなんとかやつてますから」と拓郎さん。

ずっと続けたいものは何か？…心の奥にある想いを自らに問い合わせたい。

### ご近所付き合いは?



部活動も近所付き合いも経験がなく、酒もタバコもやらないご主人は当初集落での人付き合いで不安もあつたという。しかし近所の方に言われるがままとにかく集まりに参加する内に、徐々に顔を覚えてもらえるようになった。わからないなりに役もこなし、今では馬糞を堆肥として使ってもらえるようにもなり、地域に貢献できるようなつたことを喜んでいる。

### 移住のコツを教えてください。

「せっかく移ってきた人が出て行つてしまふのは地域も残念です。だから一生続けられるよなことをして欲しい。好きなことを無理せずに。でも命さえあれば大抵の事はできると思します。こんな僕でもなんとかやつてますから」と拓郎さん。

## 無理せず一生続けられること。

### たけうち・たくろう

広島県・作木村（現・三次市）出身。障害馬術の選手として各地を転戦する中、香川県の乗馬クラブを拠点としていた頃に直美さんと出会う。馬と向き合う内に装蹄を覚え、その経験を活かし蹄鉄細工をはじめとしたオリジナルアクリセサリー作りも行う。馬のフィジカル面を担当。

### たけうち・なおみ

香川県高松市出身。元保育士。子供の頃から馬に強い憧れを抱いていたが、一時封印したまま成長する。大人になつて馬への想いが再燃。赴いた乗馬クラブで拓郎さんと出会う。馬本来の在り方を追究しホースセラピー施設を開設。メンタル面のケアを担当する。

### 開業までの経緯は?

「引っ越ししてきた当初はアパート住まいでも知り合いもいませんでした。ただ息子が転校生といることもあって、先生方が気を使ってくださり生活のことで心配している相談に乗つてくれて…」。1クラス20数名の規模の小ささや田舎ならではの情の厚さも手伝い、先生ほどなく気軽に話せる間柄になつた。その後、当時勤務していた乗馬クラブから学校のイベントに馬を連れていつたりするようになり、先生方のサポートの下、徐々に地域に馴染んでいくこととなつた。

（笑）というほど馬と通じ合って心を整えるホースセラピー施設を始めて10年。この地を選んだのは美土里町という地名が気に入つたことが理由だった。

とはいえ、動物のいる施設をつくるのは簡単ではないはず。どのようにして開業に至つたのか、その経緯を伺つてみた。

## 元

々乗馬競技の選手だったたご主人と、前世が馬だったのではないか